

太宰府観光がいとまっふ



発行 2026 年 8 月

観光施設利用ご案内

2026 年 8 月現在の情報です。

12月 大宰府天満宮 092-922-8225 開 門 春分の日～秋分の日前日～6:00 秋分の日～春分の日前日～6:30 閉 門 4～5月～19:00 6～8月～19:30 9～11月～19:00 12～3月～18:30 年末年始(12/31～1/3)～昼夜開門 ※昼し、イベントのある日はこの限りではない。要確認	九州国立博物館 050-5542-8600 開 館 9:30～17:00(入館は16:30まで) 入館料 常設展：一般 700円・大学生 350円 ※特別展は別料金 ※障害者とその介護者 1名、 高校生、18歳未満、70歳以上は無料 休館日 毎週月曜日(祝日・振替休日の時は翌日)・年末
宝物殿(天宰府天満宮) 092-922-8225 開 館 9:00～16:30(入館は16:00まで) 入館料 大人 500円(400円) 高大学生 200円(100円) 小中学生 100円(50円) ※(1)内は団体 30名以上 休館日 毎週月曜日(祝日・振替休日は開館)	菅公歴史館(天宰府天満宮) 092-922-8225 開 館 9:00～16:30(入館は16:00まで) 入館料 大人 200円(150円) 高大学生 150円(80円) 小中学生 100円(50円) ※(1)内は団体 30名以上 休館日 毎週火曜日・水曜日
天宰府駐車センター 092-924-2843 時 間 8:00～16:30(入庫は17:00まで) 年末年始(12/31～1/3)～終日営業 ※昼し、イベントのある日はこの限りではない。要確認 料 金 大台車 ¥2,000円・マイクロボス ¥1,300円 普通車 ¥500円・バイク ¥250円	だざいふ遊園地 092-922-3551 時 間 平日 10:30～16:30 土日祝日 10:00～17:00 (期間によって変わる) 入館料 大人 700円(600円)・65才～600円(600円) 3才～小学生 500円(400円) ※(1)内は団体 20名以上 休館日 期間によって変わる。要確認
宝満宮竈門神社 092-922-4106 お礼・お守拝与所 8:30～18:00	坂本八幡宮 092-928-0800 土子会受付 10:00～16:00 氏子のみ(※状況により変更あり)
大宰府展し館 092-922-7811 開 館 9:00～16:30 入館料 一般 400円・高大学生 200円 小中学生無料 休館日 毎週月曜日(祝日・振替休日の時は翌日)12/28～1/4	文化ふれあい館 092-928-0800 開 館 9:00～17:00 休館日 毎週月曜日(祝日・振替休日の時は翌日) 12/28～1/4
観世寺寺収蔵庫(宝蔵) 092-922-1811 開 館 月～水曜日 9:00～16:30(入館は16:00まで) 金・日曜日 9:00～17:00(入館は16:30まで) 拝観料 大人 600円(400円)・高大学生 400円(300円) 小中学生 150円(100円) ※(1)内は団体 20名以上 休館日 なし	水城館(水城東門跡) 092-555-8455 開 館 9:00～16:30 休館日 毎週月曜日(祝日・振替休日の時は翌日) 12/28～1/4
天宰府館(地域活性化複合施設) 092-918-8700 開 館 10:00～18:00 休館日 毎週火曜日(祝日・振替休日の時は翌日)	発行元(一社)大宰府観光協会 〒818-0117 福岡県大宰府市南宰府 3-2-3 TEL(092)925-1899/FAX(092)925-1866 このガイドマップは、「歴史と文化の環境施設」を活用しています。

太宰府のおみやげ

うめがえもち
太宰府名物 梅ヶ枝餅

もち米とうるち米で作った生地に小豆あんを包み、
こんがりと焼き上げたお餅です。

浄妙尼という老女が不遇の日々を送っていた道真公を哀れみ、餅に梅の枝を添えて送ったのが由来といわれています。

＜販売場所＞天満宮参道・神苑など

きうそ
木 覺

天祐



毎年1月7日には、太宰府天満宮の境内で木鷲を互いに取り替え、一年間ついた嘘や災いを天神さまの誠に取り替えて幸運をいただく「うそ替え神事」が行われます。

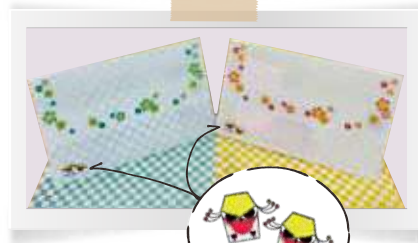
※「うそ替え神事用」の木うそは太宰府天満宮で販売

うそ
覺

天神様のお使いでもあり



抗菌クリアファイル



太宰府観光協会
オリジナルグッズ
チケットホルダーやマスクケースなど様々
な用途に使えます。
(サイズ：タテ14cm ヨコ22cm 抗菌加工)

＜販売場所＞太宰府市観光案内所

太宰府天満宮の行事



1月 一 歳旦行事
 2月 一 鬼子母・豊替え行事
 2月 一 節分厄除大祭(豆まき行事)
 3月 一 梅の花見
 3月 一 梅の花見ごろ
 4月 一 曲水の宴
 4月 一 厄晴れひょうたん焼納祭
 5月 一 花菰の若葉見ごろ
 5月 一 花菰蒲見ごろ
 一 大祓式
 7月 一 七夕の宴
 一 夏の天神まつり(千灯明)
 8月 一 注連しめ・打奉納相摸
 9月 一 神幸式大祭(千灯明)
 10月 一 特別交誼会格祈願大祭
 一 秋思祭
 11月 一 菊花展
 12月 一 納天大祭・古神札焼納祭




交通案内

西鉄太宰府駅へ

福岡空港国内線ターミナルから

福岡市営地下鉄・西鉄天神大牟田線
約50分

福岡空港国際線ターミナル経由
太宰府ライナーバス「旅人」で
約40分

西鉄福岡（天神）駅から

西鉄天神大牟田線・西鉄太宰府線で
約30分

JR 博多駅から

福岡空港国際線ターミナル経由
太宰府ライナーバス「旅人」で
約40分

JR 二日市駅から

タクシーで 約15分

九州自動車道

太宰府 I.C. から 約6km 15分
筑紫野 I.C. から 約8km 15分

凡例

+++++	西鉄電車
■ ■ ■ ■ ■	福岡市営地下鉄
— — — — —	JR 線
.....	バス
=====	九州自動車道
———	一般道
.....	徒歩

—— 太宰府ライナーバス「旅人」 ——

太宰府駅前バス停より

太宰府

乗換不要
←→
40分

博多

(福岡空港
国際線ターミナル)

太宰府天満宮

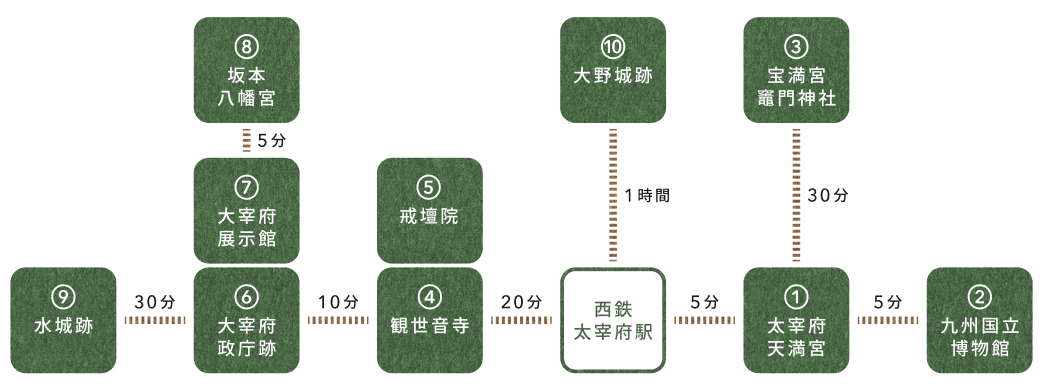
門前町ご案内



太宰府 広域マップ



主な観光コース（徒歩での所要時間）



太宰府市観光交通ガイド

駐車場の満空情報が確認できます。 <http://dazaifcity-parking.com/pc/>

太宰府市コミュニティバス「まほろば号」

全区間一律 ¥100	1日フリー乗車券 ¥300
---------------	------------------

...「まほろば号」バスルート

レンタサイクル

西鉄太宰府駅
西鉄都府楼前駅にて受付

詳しくは太宰府市のホームページで確認してください。
<https://www.city.dazaifu.lg.jp/soshiki/24/1296.html>

- ### 凡例
- トイレ
 - 身障者用トイレ
 - オストメイト対応トイレ
 - 車いす用駐車場
 - 駐車場
 - 授乳室
 - おむつ交換台
 - コンビニエンスストア
 - レンタサイクル
- まほろば号バスルート
- 歴史の散歩道
- 交差点名

「ださいふ」の表記について

歴史上の役所は太宰府、行政上の名等については太宰府と書く事が慣用化されています。

例) 太宰府政庁跡 例) 太宰府市役所

本誌でもこれに倣いました。

16 櫻社 道真公が大宰府着任から亡くなるまでの2年間を過ごした邸所「府南館」跡と伝えられている。	14 対宣の閑跡 大宰府の街の出入口にあたり、昔、閑所が置かれていたといわれる。	12 文化ふれあい館 太宰府の歴史や文化を紹介する複合施設で、史跡散策の拠点でもあり休息もできる。	10 大野城跡 大宰府の北の守りとして朝鮮の山城を手本に、665年に築かれた。山頂は8kmにわたり土塁や石垣で囲まれ、現在も倉庫跡と思われる礎石が点在している。国の特別史跡	9 水城跡 664年に唐・新羅（しらぎ）の侵攻に備え築かれた防衛施設（人工の土塁）。全長1.2kmに及ぶ。国の特別史跡	8 坂本八幡宮 坂本地区の土地神・産土神として崇拝される。大伴旅人郎跡とされ「梅花の宴」が開かれた場所として知られる。（備説あり）元号「令和」は梅花の家で詠まれた梅花の歌三十二首の序文より引用された。	7 大宰府展示館 大宰府政庁跡で発掘された遺構や出土品をはじめ、政府の復元模型や令和ゆかりの「梅花の宴」再現ジオラマ（製作：山村延伸）などが展示され、大宰府の歴史・文化を分かりやすく紹介している。	6 大宰府政庁跡 奈良・平安時代にかけて、九州を治め、外交・軍事・経済を担った役所大宰府が置かれた。ここはその中核。唐僧鑑真（かんじん）が来日後、授戒を行ったことでも知られている。	5 戒壇院 奈良の東大寺、下野の薬師寺と並んで日本三戒壇のひとつ。唐僧鑑真（かんじん）が来日後、授戒を行ったことでも知られている。	4 観世音寺 筑紫で崩御されたご生母斉明（さいめい）天皇追憶のため天智（てんじ）天皇が創建。日本最古といわれる梵鐘（国宝。現在、九州国立博物館で展示中）、宝蓋に安置された仏像（重要文化財）は必見の史跡。	3 宝満宮 鹿門神社 神武天皇のご生母、玉依姫命（たまよりひめのみこと）を祀り、縁結びの神様として信仰が厚い。「日本文化の形成をアジア史的観点から捉える」というコンセプトを持つ。	2 九州国立博物館 東京・京都・奈良に次ぐ4番目の国立博物館。「日本文化の形成をアジア史的観点から捉える」というコンセプトを持つ。	1 太宰府天満宮 菅原道真公（天神さま）の御墓所の上に御社殿を造営し、その御神霊をお祀りしている全国天満宮の総本宮。「学問・至誠・文化芸術の神様」として、広く世の御崇敬を集めている。
---	--	---	--	---	--	--	--	---	---	---	---	---